

厚生病院だより

広報誌

第69号

2019 7. 1

ほほえみ

基本理念

信頼され、心が通う地域医療

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 患者さん自身で治療を選べるよう、わかりやすく十分に説明します。
3. 地域の急性期医療を担います。
4. 地域の医療・介護機関と緊密に連携します。
5. 診療の質を高めるため、研鑽・研修に努めます。
6. 医療の安全確保に努めます。
7. 効率的で健全な病院経営を目指します。
8. 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

眼科

Ophthalmology

眼科診療部長 たむら あきひろ 田村 明洋



眼科は、常勤医2名と非常勤医1名（群馬大学眼科）で診療を行っています。扱う疾患は、白内障、緑内障、眼底疾患、外眼部疾患など眼科全般です。また、視能訓練士が3名常勤しており、小児の斜視・弱視訓練にも対応しています。当科のみでは対応が困難な場合は、群馬大学や地域の先生と連携して治療に当たっています。

代表的な疾患について説明します。

はく ない しょう 白内障

眼の内部でレンズの役割をしている水晶体が濁る疾患で、眼のかすみやまぶしさ、視力低下の原因となります。かつては失明原因の上位でしたが、機器および技術の進歩により、現在は侵襲が少なく安全性の高い手術で治療できるようになりました。手術では数mmの切開創から水晶体を超音波で砕きながら取り除き、人工水晶体を眼内に移植します。当科では術前術後管理のため2泊3日入院して頂いています。

りょく ない しょう 緑内障

眼と脳をつなぐ視神経が障害され、視野が徐々に狭くなる疾患です。日本人は40歳以上の20人に1人が罹患すると言われていています。初期では自覚症状が出にくいいため、健診で発見されることや進行してから受診されることが多いです。

緑内障は視野を回復させるような根本的な治療法はありません。現時点では眼圧を下げて進行を遅らせることが唯一確実な治療法とされています。そのため治療効果を実感しにくく、通院を中断してしまう方が多いことが問題となっています。緑内障について正しく理解し治療を継続していただけるように、分かりやすい説明を心掛け診療を行っています。治療法には点眼、レーザー治療、手術があり、緑内障のタイプや進行具合により選択されます。



がん てい しっ かん 眼 底 疾 患

眼底には網膜や脈絡膜など重要な組織があります。いずれも血管が豊富なため、血管の異常により様々な疾患が生じます。代表的なものに、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性などがあります。

眼底疾患の診療は、OCT (optical coherence tomography: 光干渉断層計) の普及により大きく変わりました。この検査機器は、眼底の詳細な構造を非侵襲的に画像化でき、診断や治療効果判定の精度が飛躍的に向上しました(図1)。また、治療法ではステロイドやVEGF (vascular endothelial growth factor: 血管内皮増殖因子) 阻害剤の眼球への注射が行われるようになり、従来の方法では治療困難な症例も視機能の維持が期待できるようになりました。当科でも数年前に導入し、診断や治療に活用しています。

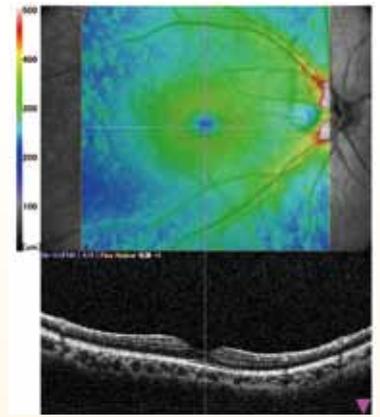


図1 OCT画像

人間が外界から得る情報の約9割は視覚が関与していると言われています。そのため、生活の質を良好に保つためには、視覚の質の維持が不可欠です。皆様の眼の健康をお守りできるよう、スタッフ一同日々精進して参ります。今後ともよろしく願いいたします。

広告付き周辺地図 案内板の設置について

来院者の利便性の向上と地域医療推進等を図るため、1階エントランスホールに広告付き周辺地図案内板を2019年6月1日から設置しております。

病院の周辺地図パネルと広告パネルが並んでおり、広告パネルには広告映像の他、連携登録医療機関の検索、最新のニュースや天気予報、病院からのお知らせ等が流れています。

ちょっとした待ち時間などにぜひご利用ください。



この件についてご意見等がございましたら**契約管財課 (44-7142)** までご連絡ください。

Kiryu Summer Topics

タブレットPCを用いた新しい初診受付システムを導入します

このたび、当院へ初めて受診される患者様を対象に2019年7月からタブレットPCを用いた初診受付システムの運用を開始することになりました。初診受付システムの導入は**当院が県内第1号**となります。

このシステムは、初めて来院される患者様が最初に訪れる「初診受付窓口」において、窓口スタッフが担当していた「患者情報登録」作業を効率化したもので、スキャン（画像取込み）技術の活用により、健康保険証や受給者証に記載されている情報を自動的に読取ってデータ化、補足情報をタブレット入力で補うことで登録作業の効率化が図れる仕組みです。

従来の手入力作業による情報登録からシステム化することで、入力間違い等のヒューマンエラー削減は勿論、患者様におかれましては、受付完了までの待ち時間短縮が期待されます。

初診受付システムは全国で既に20医療機関で導入され、これから導入を進めていく医療機関の数も日にちを追う毎に拡大しています。

「令和」の新時代を迎え、医療機関においても患者様を取り巻くあらゆる場所でICT化が進むものと思われませんが、当院におきましても、患者サービスの向上を念頭に地域における中核病院としての機能を果たすべく、ICT導入を積極的に進めて参りますので、引き続き皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い致します。



初診受付システム(写真左からタブレットPC、保険証読取スキャナー)

第21回

ハッピー健康相談室

日時 2019年9月4日(水) 14:00~16:00

テーマ ①「知って得する！がんの予防から治療まで」

講師：副院長兼外科部長 かとう ひろゆき 加藤 広行

②「がんの病態に合わせた食事と栄養」

講師：がん病態栄養専門管理栄養士 のざき みつぐ 野崎 貢

“健康な暮らし” それは皆さまの願いでしょう。心のこと、体のこと、疑問なこと、困っていること、ありませんか？ 皆さまの健やかな幸せのため、楽しく学べる時間、お待ちしております。



■ 場 所：桐生厚生総合病院 情報コーナー（正面玄関脇）

■ 参加費：無料（事前申し込みは不要です） ■ 駐車場：無料（当院の駐車場をご利用ください）

■ 主 催：桐生厚生総合病院 医療ホスピタリティ推進委員会 ■ 問い合わせ：事務局 TEL.0277-44-7130

第
23
回

市民公開講演
桐生厚生総合病院

教えてドクター!

～みんなで学ぼう**肺がん**のこと～



日時

2019年

8月24日(土)

14:00～16:00 開場 13:30

場所

**桐生市市民文化会館
スカイホール**

駐車場は、桐生厚生総合病院駐車場または
桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください

プロ
グ
ラム

司会 **高橋 満弘**

桐生厚生総合病院 副院長兼放射線科部長

講演1 「放射線治療の実際」

村松 博之

桐生厚生総合病院 放射線科部長

講演2 「肺がん手術 当院での取り組み」

田嶋 公平

桐生厚生総合病院 呼吸器外科部長

講演3 「肺がん治療最前線」

宇津木 光克

桐生厚生総合病院 特任内科部長

多くの皆さまのご来場をお待ちしております

主催 **桐生厚生総合病院** (がん診療連携拠点病院機能強化事業)

後援 **桐生市医師会/桐生市薬剤師会**

お問い合わせ先

参加費無料・申込不要

TEL 0277-44-7150

(桐生厚生総合病院 地域医療連携室)

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)